

「(仮称)国立市行財政改革プラン(骨子案)」に対する意見募集の結果

1. パブリックコメントの概要

- (1) 意見募集期間 令和元年8月25日(日)から9月25日(水)まで
 (2) 意見提出者数 1名(4件)

2. 市民説明会の概要

- (1) 日時及び場所 ①令和元年8月25日(日)13時～@市役所3階第1・2会議室
 ②令和元年8月26日(月)19時～@くにたち南市民プラザ多目的ホール
 ③令和元年8月27日(火)19時～@くにたち駅前市民プラザロビー
 (2) 参加者数 ①2名、②0名、③9名

3. いただいた意見・質問の内容及び市の考え方

No	対象箇所	意見の概要	市の見解	意見をいただいた場所
1	全体	<p>○用語の使い方 国立市だけではなく行政が好んで使う用語なのでしょうか、本骨子案にも「適正化」「健全化」という用語が多用されています。 適正の反対は不適切、健全の反対は不健全です。適正化し健全化しなければならないことを強調すればするほどに、今の行政が「不適正で不健全な」業務執行を行なっていることを自らが公言していることとなります。実際にはそんなことがあるはずがないのですから、それこそ「適正な」用語を使用することに注意をしていただきたいと思います。 他のケースでも、使用料を値上げする際には「見直し」や「改訂」と言います。営利企業なら値上げを改訂(値下げはズバリ値下げ)と表現することはやむを得ないとは思いますが、行政は営利企業ではないのですから、内容を出来るだけ正確に伝える言葉を使うべきです。</p>	<p>「適正化」という用語は本文中に4か所(内3か所が名称中に使用)、「健全化」という用語は本文中に3か所(内1か所が名称中に使用)使用されています。 「適正化」は職員定数、時間外勤務時間数、給与に言及している箇所で使用されています。他市との比較で定数、時間は平均値より高い状況にあり、給与は過去に高かった状況にありました。そのような状況を改善していく、あるいはしてきた取組のことを「適正化」とあらわしております。 「健全化」は主に財政面に言及している箇所で使用されています。将来の支出増が見込まれており、常に財政の健全な状態を目指していくという意味合いで「健全化」とあらわしております。使用料の「見直し」という用語につきましては、値下げ、値上げの両方が生じうるため「見直し」と記載しております。</p>	パブコメ
2	P3	<p>○民活、アウトソーシング アウトソーシング自体を全面否定するわけではありませんが、安易に採用すると取り返しのつかない事態になります。5~10年間もアウトソーシング(いわば丸投げ)していると委託サイドには知識や技術、経験を積んだ人がいなくなり、相手先に主導権が移ります。ある時点からは言いなりになり、時には騙されます。 発注権限が残るから強い立場が維持されると思われるかもしれませんが、実際、ノウハウを失った素人が玄人を指導・監督・管理することは不可能です。タウンミーティングで市長が空洞化と説明された言葉そのものです。その意味から、例え民間に委ねることが可能であっても市の基幹業務・主要業務・固有業務についてはアウトソーシングすることには強く反対します。 市が「カモネギ」を背負ってやって来るのを、民間企業がほくそ笑みながら今か今かと待ち受けている姿が容易に想像できるはずですが、極論になりますが、本質的に市の業務で民間にできない業務は殆どありません。市がしなければならない根源的な理由があるからこそ市が存在しているはずですし、だからこそ市民は市に期待と信頼を寄せたいと思っていてるのです。大変だけど報われない仕事だから、責任は取りたくないから、コストだけが下がれば良いから等が本音のアウトソーシングは100%失敗します。</p>	<p>市が重点的に取り組むべき事業への職員配置を行うことによる、市民サービスの向上を目指し、民間活力を導入します。また、どのような事業に、どのように導入していくのか含めて慎重に議論し、進めていきたいと考えております。 さらに、上記のような民間活力の活用に加え、例えば、地域包括ケアシステムにおける医療・介護の多職種連携や地域住民による見守り・居場所づくりといった活動を行政がコーディネートしながら課題解決に取り組むなど、行政・民間・地域住民がそれぞれの特性を活かしながら地域の総合力をもって新たな課題へと対応する仕組みを検討していきます。</p>	パブコメ

No	対象箇所	意見の概要	市の見解	意見をいただいた場所
3	全体	<p>○無駄な事業 財政を定期的に検証すること自体は賛成です。 しかし、ここでは、財源確保・歳出抑制・業務の見直しと改革が述べられていますが、無駄な事業の洗い出しを行うとはストレートに書かれていません。</p> <p>個人の感想として一例をあげれば、赤い屋根駅舎は古くからの住民の単なるノスタルジーに応えるための壮大なムダ使いですし、野外彫刻展は粗大ゴミ置き場を作っただけの失敗例に感じます(ピアノは大成功)。一つ一つの事業の事後評価をしっかりと行うことが今後の無駄の排除に繋がると思います。</p>	<p>骨子案3ページ、取組方針1 市民ニーズに対応した実行力ある行政運営に記載しているとおり、引き続き事務事業の見直しとスクラップアンドビルドを進めます。 また、プランには今後、取組項目として明示します。</p>	パブコメ
4	全体	<p>くれぐれも上から目線の強引な進め方だけはしないようにして下さい。市民の声には素晴らしいものがたくさんあるはずです。</p>	<p>引き続き、説明会、パブリックコメント等を実施していきたいと考えております。</p>	パブコメ